

■平成27年度執行目標（達成状況） 建設部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画 等	H27 実績値	H27 目標値
建設部	指導検査課	1	木津川右岸宇治木津線道路新設の促進について	昨年度までの国への強い要望等の結果、平成27年度において、国により概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）が実施されることとなった。今後、次のステップの「詳細ルート・構造の検討」に進めていけるよう、当該調査において関係市町の必要性を訴えるとともに、引き続き、協議会による要望活動を強化・継続していくものとする。	概ね達成	これまでの要望活動の取組の結果、優先区間の絞込み調査を経ずに、国による概略ルート・構造の検討調査が実施され、今後、これらの調査において関係する市町の必要性を具体的に訴えていく必要があり、道路整備による木津川市のまちづくりへの波及効果も含めて、要望活動について協議会により早期の事業化決定に向けて、引き続き継続して取り組む。	要望実施件数 (件)		5	2
建設部	指導検査課	2	業務等の入札に係る最低制限価格の導入について	最低制限価格については、これまで、入札に付す工事のみを対象としていたが、特に必要と認める役務の供給についても最低制限価格を導入することを試行する。これにより、従事する者の適正な労働環境の整備等を図るものである。 コンサルタント業務等への導入についても調査・検討を行うこととする。 また、業務等にも最低制限価格を付すことができるよう、契約事務規則を改正する。	概ね達成	工事だけではなく、特に必要と認める請負契約についても最低制限価格を付すことができるように契約事務規則の改正を行った。規則改正後、庁舎関係の清掃業務（4件）の発注において最低制限価格を付して入札を執行した。 今後、この制度を導入したことによる業務の履行状況などの精査とその効果を検証していくことが必要となる。				
建設部	建設課	1	年度内における適切な事業執行を目指す	年度内の事業について、より積極的に関係者との協議を行い適切な年度内完了を目指す。 （道路新設改良工事「木津町西垣外地内」、西垣外加茂線道路改良工事、内垣外内田山線ほか1線道路改良工事、市道加2-15号線道路改良工事、南河原川改修工事、以上5件）	概ね達成	昨年度同様に、西垣外加茂線と内垣外内田山線外1線道路改良工事については、用地買収で、地権者に幾度となく連絡を取っているが、交渉が難航している。引き続き来年度以降も粘り強く交渉に努力していく。その他の事業については、用地買収を伴う工事もあったが、地権者の協力もあり年度内に出来た。	工事件数		5	5
建設部	建設課	2	市営住宅使用料の徴収率向上を目指す	次のような取り組みにより、市営住宅使用料の徴収率向上を目指す。 ・督促状の送付 ・電話による自主的な納付の呼びかけ ・訪問 ・呼び出し	概ね達成	毎月の督促状の送付及び訪問は実施できている。 ・2班(1班2人体制)に分かれて滞納者宅に訪問 ・分割納付誓約書の徴収(新規2件)				
建設部	まちづくり事業推進室	1	国道及び府道等の新設改良事業の整備促進	国道及び府道、河川の新設・改良にかかる関係機関や地元住民等との連絡調整により、今年度事業計画に基づき遂行することを目指す。また、下記事項については関係機関（国・府）と十分連携を図り、早期完成を目指す事業に取組む。 ・国関連：国道163号木津東バイパス事業及び国道24号歩道整備事業の早期完成。赤田川樋門の早期完成。 ・府関連：東中央線事業の早期完成。赤田川及び大井手川改修事業の早期完成。	概ね達成	国施行の木津東バイパスについては随時、国や関係者等との協議を重ねている。現在も奈良道交差点改良に係る地権者等への交渉を進めている。 府施行の東中央線についても環境対策等の協議を府・地元との間で進め、概ね対策案の同意を得た。今後も数件の未買収地権者への交渉にあたり、両事業とも早期完成に向け努力する。	協力依頼等交渉延軒数		30	30
建設部	管理課	1	木津川市都市公園・緑地施設等市民自主活動支援の推進	木津川市都市公園・緑地施設等市民自主管理活動支援要綱に基づき、地域の団体に自主管理活動を行って頂けるよう、啓発活動、募集活動に取り組む。	概ね達成	街区公園18箇所・都市緑地2箇所・緑道2箇所、計22箇所の公園緑地について、15団体より市民自主管理活動の申出が有り、平成28年度より実施して頂く事となった。 自主管理活動団体の申出の件数の伸びが低くなったが、市内には、まだまだ小さな街区公園が有ることから、引き続き、広報やホームページ等に掲載を行い参加団体を募る必要がある。	自主管理活動公園箇所数(箇所)		22	25
建設部	管理課	2	舗装修繕計画箇所の事業執行	市内の道路延長539kmの内、平成26年度に舗装路面の劣化が激しい道路、路線バスが通行している道路、国や府道へのアクセス道路となっている道路、公共施設・学校・駅に近接している道路の100kmにおいて、路面性状調査を行った上で修繕が必要とされた27kmについて舗装長寿命化修繕計画策定を行い優先順位を付けて修繕を行う事となり、年次計画を定めて道路修繕事業に取り組む。	概ね達成	舗装修繕については、平成25年度は1.3km、平成26年度は1.4kmの舗装修繕が完了し、平成27年度は1.8kmの舗装修繕を予定していたが、交付金が要望額どおりに交付されず舗装修繕が0.8kmに止まった。交付金の予算配分にもよるが、平成28年度以降も、引き続き、補修修繕計画に基づき工事を実施する必要がある。	舗装修繕済延長(km)		3.5	4.5
建設部	都市計画課	1	第1次木津川市都市計画マスタープランの中間見直し	「第1次木津川市都市計画マスタープラン」に基づきまちづくりを着実に継承することを基本に、環境変化に柔軟に対応し、現行計画における5年間の進捗状況を検証するとともに、今後5年間に取り組むべき施策や実現性の高い具体的な方針を確立するために、現行計画の見直しを行う。	概ね達成	次の2点の明確化 ①木津中央地区での文化学術研究施設の立地促進 ②宇治木津線の幹線道路としての整備				
建設部	都市計画課	2	木津駅前地区の土地有効活用検討	木津駅前周辺の活性化を図るため庁内関係課とワークショップを行い、駐車場・駐輪場・商業施設・公共施設等の検討を実施する。今年度は、整備方針を策定し、発注手続きを行う。	概ね達成	平成28年4月 暫定駐車場整備、地耐力調査・埋蔵文化財調査の実施 平成28年6月 新設・暫定駐輪場整備 平成28年8月 事業用定期借地権契約の締結 平成28年9月 建設工事着工（概ね6か月程度予定） 平成29年4月 商業施設 オープン				
建設部	木津北地区保全推進室	1	学研木津北地区の管理用道路整備と整備計画策定準備	学研木津北地区の保全を推進する。 具体的には、市有地の保全のために、管理用道路の復旧・整備を進める。また、「生物多様性木津川市地域連携保全活動計画」を推進する具体的な整備計画を策定するための準備作業として、また地区の経年変化を確認するためとして、環境調査（動植物及び植生）を実施する。	概ね達成	管理用道路の復旧・整備を進め、目標値を上回る整備を行った。今後も引き続き奥地へ向かって進める必要がある。 また、環境調査を実施した。これに基づく具体的な整備計画を策定する必要がある。	管理用道路の整備(m)		1200	1100